

「目指すは頂点!!～集まれ!未来のトップアスリート～」
に参加した選手とその保護者の皆様へ

北海道バスケットボール協会スポーツ医科学委員では2017年1月から2019年8月の期間で全4回実施した「目指すは頂点!!～集まれ!未来のトップアスリート～」に参加した選手の計測データを使用した研究を実施しております。本研究の対象者に該当する可能性のある方で計測データなどを研究目的に使用されることを希望されない場合は、2025年7月31日までに下記の問い合わせ先にお問い合わせ下さい。

研究名	小中学生バスケットボール選手における着地動作と身体機能の関連性の検討
研究組織	石田 知也 北海道バスケットボール協会 スポーツ医科学委員会 トレーナーグループリーダー (研究責任者) (北海道大学大学院保健科学研究院)
	金子 知 北海道バスケットボール協会 スポーツ医科学委員会 委員長 (整形外科北新病院 整形外科)
	松本 尚 北海道バスケットボール協会 スポーツ医科学委員会 副委員長 (整形外科北新病院 リハビリテーション科)
	井野 拓実 北海道バスケットボール協会 スポーツ医科学委員会 委員 (北海道科学大学 保健医療学部)
	鈴木 信 北海道バスケットボール協会 スポーツ医科学委員会 委員 (北海道文教大学 医療保健科学部)
本研究の目的	バスケットボールでは膝前十字靭帯損傷などの重篤なスポーツ外傷が多く発生し、特に10代後半での受傷が多いと報告されています。そのため、小中学生年代からスポーツ外傷のリスクスクリーニングや予防教育を行うことは重要です。スポーツ外傷の代表的な受傷起点の一つに着地動作が挙げられますが、小中学生の着地動作パターンの特徴、その特徴と身体機能との関連は明らかにされていません。本研究は小中学生バスケットボール選手を対象に着地動作の特徴と、その特徴と身体機能の関連を明らかにすることを目的とします。
調査データ 該当期間	2017年1月～2019年8月
研究の方法	●対象となる選手 2017年1月、2017年9月、2018年8月、2019年8月に行われた「目指すは頂点!!～集まれ!未来のトップアスリート～」に参加した選手 ●使用する情報 年齢、性別、身長、体重、身体機能データ、着地動作データ
個人情報の 取り扱い	研究に使用する情報から氏名や住所などの選手を特定できる個人情報は削除いたします。また、研究成果は学会等で発表を予定していますが、その際も選手を特定できる個人情報は使用いたしません。
本研究の資金源 (利益相反)	本研究に関連し開示すべき利益相反関係にある企業等はありません。
お問い合わせ先	松本 尚 (北海道バスケットボール協会 スポーツ医科学委員 副委員長) 電話：011-792-1211 (整形外科北新病院 リハビリテーション科)